



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,  
 OSAKA, JAPAN

November 2002 No.5  
 Chartered July 20, 1982

## 標語 YS SLOGANS (2002~2003)

クラブ会長 : 『心と想いを合わせ、共に生きる』  
 国際会長 : " Growth through service " 『奉仕による成長』  
 アジア会長 : " Into the bright light of selflessness " 『無私の奉仕で輝く未来へ』  
 西日本区理事 : 『ベクトルを合わせ、地域と共に活動を』  
 中西部長 : 『心(こころ)豊かに! ワイズ・スピリッツを燃やそう!』

## クラブ役員 Officers

会長 : 松浦 孝次  
 副会長 : 中村 茂高  
 " : 谷川 俊一  
 書記 : 山田 孝彦  
 " : 畠中 彬  
 会計 : 三浦 直之  
 ネット会長 : 松浦 和子  
 Y連絡職員 : 浜野 昌保

## 月間強調テーマ : 『BF』

☺☺☺ 11月の聖句 ☺☺☺

### 【 Biblical Message of the Month 】

さて、ヨセフという議員がいたが、善良な正しい人で、同僚の決議や行動には同意しなかった。ユダヤ人の町アリマタヤの出身で、神の国を待ち望んでいたのである。  
 (ルカによる福音書 23章50~51節)

久しく待ちにし 主よ とく来たりて  
 み民のなわめを 解き放ちたまえ  
 主よ主よ み民を 救わせたまえや。

あしたの星なる 主よ とく来たりて  
 おぐらきこの世に み光をたまえ  
 主よ主よ み民を 救わせたまえや。

(さんびか 94番)

### ☺☺☺ Attention Please ☺☺☺

1. 1月第1例会は「YMCAをより理解するために」をテーマに、さる7月メキシコで開催された「世界YMCA大会」に参加した若手の代表、南YMCAの鈴木えみさんからの報告を聴きます。なお、切手整理をしますので、ハサミをご持参ください。
2. 関西いのちの電話バザー: 11/2(土)、土佐堀カーニバル: 11/4(月)、チャリティラン: 11/17(日)、土佐堀クリスマス: 12/7(土)と、あいついでイベントが開催されます。ふるってご参加ください。
3. 12月第1例会は、12/7(土)土佐堀クリスマスに先だてて16:00~16:30に開きます。12月第2例会は12/18(水)18:30~20:30東洋ホテルで「納会」をもちます。一年を締めくくる楽しい会になることでしょう。

☺☺☺ 11月の例会 ☺☺☺

### 【 November Club Meeting 】

#### ○ 11月第1例会

日時: 2002年11月20日(水) 18:30~20:30  
 場所: 東洋ホテル3階

司会 坂本 千春/ネット

1. 開会点鐘 松浦 孝次/会長
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト紹介 松浦 孝次/会長
4. 聖句朗読 湯浅 充章/君
5. 今月のテーマ「BF」 栗山 佳三/君
6. 日々の糧・晩餐 一同
7. 「第15回世界YMCA大会に参加して」  
 ・大会の概要・紹介 谷川 寛/君  
 ・レポート

南YMCAスタッフ 鈴木 えみ/氏

8. 切手整理 (ハサミ) 一同
9. お誕生日祝い 一同
10. ニコニコ献金 ドライバー
11. その他連絡・報告 各担当
12. 閉会点鐘 松浦 孝次/会長

#### ○ 11月第2例会

日時: 2002年11月27日(水) 18:30~20:30  
 場所: 大阪YMCA土佐堀館9F

\*11月例会当番 第5班 (三浦、山村、湯浅、新保、坂本)

\*11月お誕生日 Happy Birthday!!

湯浅メネット1日、川村君・畠中メネット2日、山村君6日、栗山君8日、松浦メネット22日

### 【 クラブ統計 Statistics 】 下欄 ) は、うち広義会員を表わす

2002年10月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 25名(1名)	メン	14(1名)	9名	10月: 切手 1,290gr.	10月: 19,400円
例会出席 16名(1名)	メネット	5名	名	現金 4,000円	(02年7月以降の)
うちマークアップ 1名	ビジター	3名	名	(02年7月以降の)	累計: 93,800円
	ゲスト	1名	名	累計: 切手 2,435gr.	(除く、クリスマス献金、
出席率 62.5%	合計	24(1名)	9名	現金 14,000円	オークション、記念献金)

今月のこのコラムのキーワードは「待ち望む」という言葉です。

今年は日本から二人のノーベル賞の受賞者が選ばれました。素晴らしい朗報です。興味のあることには、この二人の方の共通点は「偶然によって一つの結論(大発見)を得られたということです。勿論、ただ漫然と発見に導かれたのではなく、絶えざる実験の結果によることがお二人の口から語られておりました。すなわちいつも問題を持って(疑問をもって)おられたからに他なりません。

イスラエルの人々は長い間、バビロニアを始めローマなどの外国の支配下にある桎梏に苦しんでおりました。それ故、彼らの救い主を待ち望む気持は切実でありました。旧約聖書に出てくる多くの預言者の言葉はすべて救い主(メシア)の出現を神からのメッセージとして伝えておられます。彼らも、ただ漫然として待っていたのではなく神への信仰を深め、その行いを正し、心の準備をしながらメシアを待ち続けました。

その結果もたらされたのがイエス・キリストの誕生です。来月にはクリスマスを迎えます。心を改め聖なる思いをもってクリスマスを迎える準備を致しましょう。

(聖句選、コメント:黒田巖之)

◇◇◇ 10月 第1例会 ◇◇◇

【 Report of the October Club Meeting】

10月16日(水) 18:30~20:30 東洋ホテル3F

ブリテン:松浦 孝次

●ビジターに大阪豊中クラブの北村良蔵会長、石橋ルキさん、おなじみの東京目黒クラブの坂本哲朗さん、またゲストに戸取 献さんを迎えて、総勢24人の出席。

豊中クラブのお2人は、40周年記念例会を10月13日にもたれたばかりのところ、中西部の各クラブを廻るギャベルリレーもあって来訪された。

●藤原正巳メンの司会のもとに開会。聖句朗読は、隅田恵子メネットが担当。

●続いて、メインプログラム。「日本を自然保護大国に〜クマの棲む豊かな森を次世代に」をテーマに、日本熊森協会・企画推進部長の瀬戸悠子氏からお話をうかがった。

人里に下りてきて殺された熊は何を物語るのか、中学校の生徒のときに立ち上がり、いま自然保護運動を実践されている立場から、「日本の森がいかに荒廃しているか、次世代のためになにをなすべきか」を実体験にもとづいて語っていただいた。(ビデオも)。

氏が10年前中学校に在学中、森山まり子教諭(現日本熊森協会会長)とともに、全校生徒、教師、父兄の理解と支援を受けながら、絶滅寸前の兵庫県のツキノワグマの保護に立ちあがった過程は、ドラマチックで、われわれは大きな感動を受けた。

自然との共生は、子孫に及ぶ重要な課題。「森を守り、全生物と共存しなければ人間も生きていけない」という大変重要なメッセージであった。

On October 16th, the club's October meeting was held at the Toyo Hotel with a total of 24 Y's men, Y's menettes, and guests in attendance.

The highlight of the meeting was the address made by Miss Yuko Seto, director of the Japan Bear and Forest Association and a graduate school student of the Kyoto University. She spoke about the importance of preserving the natural forests for wild animals and mankind.

Aiming at the creation of a coexisting society between wild animals and mankind, the Association is campaigning to rebuild natural forests of the oak and beech trees as they used to be long time ago - most of these forests had been replaced by planting of the Japanese cedar and cypress for housing use after the second world war.

We were particularly impressed with the way she organized and promoted this campaign. What she talked about was really struggling experiences of the mid teenagers' group against the established society, scholars, rural communities and government offices.

After long struggling efforts, her group finally succeeded in obtaining the understanding of the campaign from a prefectural governor, a central government office and even from the Emperor and Empress.

We were greatly moved by the story of these youngsters and wish their campaign would prevail more to enable our society to make a better place for both people and animals to live together.

◇◇◇ 10月 第2例会 ◇◇◇

【 Report of the October Officers' Club Meeting】

10月23日(水) 18:30~21:00 YMCA土佐堀館

書記:山田 孝彦

●11月例会プログラム

第1面記載のとおり。

●12月例会プログラム

12月第1例会は、12/7(土)土佐堀クリスマスに先だって16:00~16:30に開く。12月第2例会は12/18(水)17:30~役員会、18:30~20:30納会(全員のスピーチ…「今年を振り返り、来年に向けて」)とする。

●1月第1例会は、次期役員を選出する総会となる。それに向けて、11月から準備をすすめる。

●YMCA 土佐堀カーニバルおよび土佐堀クリスマスへ、6ワイズから支援(各2万円)をすることが両実行委員会から求められているが、本クラブは支援することを承認。

●杉浦次期中西部部長からの要請にもとづき、次期中西部の主査候補を検討した。クラブとして全面的にバックアップすることを前提にする。

●ホームページ制作について。

10/22 貴多野広報委員長、藤原・石津・松浦メンが、掲載内容、管理者、コスト等について協議した。11月第2例会に案を提出することを目標に準備をすすめる。

## YMCA ニュース

連絡職員・浜野 昌保

今年の世界YMCA/YWCA合同祈禱週のテーマは、「異なる信仰をもつ人びとと共に生きる」です。下記のプログラムを実施しますので、ぜひご参加ください。

### ★世界YMCA/YWCA合同祈禱礼拝

日時：11月12日(火) 午後7時～午後9時  
場所：大阪YMCA会館 10階チャペル  
内容：一部 世界に思いを馳せ、祈る集い  
二部 バイオリン演奏・歌と交わりの集い  
問合せ：大阪YMCA国際・社会奉仕室  
Tel06 (6441) 0894

### ★大阪YMCA早天祈禱会

日時：11月15日(金) 午前7時30分～8時30分  
場所：大阪YMCA会館 10階チャペル  
証し：向谷章氏(大阪YMCAスタッフ)  
問合せ：大阪YMCA Tel06 (6441) 0894

### ★チャリティーラン

日時：11月17日(日) 午前9時30分～午後1時  
会場：淀川河川公園枚方地区

## 10月BF ニュース

【 Report of the Brotherhood Fund in November 】  
BF 委員長・栗山佳三

- ◇現金提供者：栗山、山田、黒田、鈴木君
- ◇切手提供者：秋月メネット、中村隆、浜野、山田、黒田、栗山、谷川寛、鈴木、藤原、三浦、隅田君
- ★今月の殊勲賞：秋月メネット(620g)、中村隆君(210g)、浜野君(200g)



(10月第1例会で、日本熊森協会・瀬戸悠子氏をご紹介)

### 中西部会 開催される

松浦 孝次

10月6日(日) 13:00～14:45 第14回中西部会、15:15～17:15 チャリティーコンサートが大阪YMCA会館で開催された。

わがクラブからは、鈴木・山田・栗山・島中・三浦・湯浅・浜野メン、坂本・松浦メネットと私の10人が、コン

サートの閉幕まで出席し、参画し、楽しんだ。

松浦・坂本両メネットは、わがクラブメネット会を代表して、チャリティーコンサートの受付業務を奉仕した。

中西部会では、事業主査、各クラブ会長の報告・挨拶があった。(追って、内容は中西部通信で紹介されます)

チャリティーコンサートでは、「千里マンドリンクラブ」(1991年結成、北摂の主婦や会社員たち35名がメンバー)の演奏で、抒情あふれる懐かしい歌曲の数々を聴いた。続いて「ゴスペルジョイクワイア」は(1996年大阪で結成、若い人たちに音楽を通して福音をとの願いをこめて活動中)、最近人気のあるブラックゴスペルをパワーフルな演奏で披露、会場のみなさんも一緒に手拍子を打って興じた。



(チャリティーコンサート会場の人達もゴスペルをうたう)

◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆

## お知らせ

### 1. Yサ・ユース事業資金にご協力を!

(福永嘉彦Yサ・ユース担当から)

中西部から協力の要請があり、昨年同様(実績:現金3,510円、未使用テレカ10枚) よろしくお願ひします。

- ①書き損じハガキ(塗りつぶすこと)と未使用テレカの収集
- ②自由献金

締めきりは、前期が12月、後期が3月です。

2. 中西部会合同新年会が、来年1月11日(土) 11:30～14:30 リーガロイヤルNCB(大阪市北区中之島)でもたれます。岩坂正雄氏(プール学院長)のメッセージと、フランス料理を楽しむ懇親会。会費6,500円。

3. 中西部合同メネット会が、来年3月8日(土) 11:00～13:30 太閤風(大阪市都島区)で開催されます。講演は中島美貴子さんの「女性が輝いて生きるために」。スペシャルオリンピック支援。会費4,000円。

4. 茨木クラブ10周年記念例会が、10月8日茨木市福祉文化会館で開催され、松浦孝次君が出席。

豊中クラブ40周年記念例会が、10月13日服部緑地内の「民家集落博物館・大和十津川の民家」で開催。田中稔二、松浦孝次君が出席。

### 5. 個人消息

谷川 寛君は、シンガポールYMCA 創立100周年の祝典参加のため、10月30日より11月3日まで、同地を訪問します。ワイズのシンガポールBeta clubが、同君滞在中、集まりを企画してくれているそうです。



## ゲストからのメッセージ

○豊中クラブ40周年記念にはセンテニアルからも松浦会長、田中穰二さんに来ていただきありがとうございます。豊中クラブも第二世代に様変わりしましたがYMCAと共に地域への、国際への奉仕に燃えています。

(豊中クラブ・石橋 ルキ)

○初めてセンテニアルの例会に出席できたこと喜んでいきます。なごやかなムードのある会で、それぞれ個性があることが、あらためて実感しました。ありがとうございました。

(豊中クラブ・北村 良蔵)

○ゲストスピーカーの若い瀬戸さんの話を聴き、自然の大切さを改めて考えさせられました。こんなすばらしい若者がいることを知りうれしくなりました。

(東京目黒クラブ・坂本 哲朗)

○久しぶりに参加させていただきました。今月の例会では日本熊森協会・瀬戸リーダーのお話しが感動的でした。当クラブの地に足を着けた地道な活動の尊さを改めて感じました。

(戸取 猷)

## “ごぶさた”メッセージ

○再就職先が堺市石津川の4km先の築港で、6時終業です。例会出席間に合いません。まことに残念です。

(川村 一夫)

○いつも欠席して申し訳ありません。校長会等で多忙にしています。先週も1週間北海道でした。(新保 正秋)

○今月は欠席ばかりですみません。皆様によろしく。

(田中 穰二)

○いつもご連絡ありがとうございます。10月16日は他用が入っておりますので申し訳ありませんが、欠席します。

(谷川 俊一)

## 会員からのメッセージ

○人間も自然の一員として存在しているという認識を新たに出来ました。このままでは熊どころか人間までもが住めなくなるのではないかと不安です。(石津 雅人)

○9月メルボルンで春を迎えました。10月大阪は昼、まだ夏です。月の輪熊も暑かろう。(貴多野 乃武次)

○最近第三水曜日は晴れの日が多く例会に出席できることを喜んでおります。今日の話はよかった。皆さん、森と熊を守りましょう。(黒田 敏之)

○家の近所を子連れの猪が大きな顔をして歩き回っています。市条例に反してえさをやるオバサンがいるらしく困ったものです。(栗山 佳三)

○先日、松浦会長宅におじゃましメネットには大変お世話になりました。大へんステキなお家で楽しい一時をすごさせて頂きありがとうございます。(坂本 千春)

○熊森協会の一層の発展を祈る。若い皆様の美しいお気持ちに賛同したいです。(鈴木 謙介)

○秋月季子メネットより古切手をたくさんいただきました。お話ししていて奥様はもちろん私にとっても今でも秋月さんの大きさを思いました。そして娘さんご家族が再び海外勤務になられたとちょっとお淋しそうでした。今度メネット会にお誘いしようと思います。

(隅田 恵子)

○熊が益獣であることを学びました。確かに森を歩いて

も実のなる広葉樹が減っているように思います。再考を必要としていることを教えられました。この運動を支援しましょう。(谷川 寛)

○ツキノワグマの棲む豊かな自然を守るためにも私たちワイズが何ができるかを考えさせられたようなよい話でした。自然についての話を例会の中でもっと聞けたらいいですね。(中村 茂高)

○松浦さん宅でのメネット会はとても楽しかったです。センテニアルのメネット会を私は大好きです。熊森協会のお話は純粋で行動力があり明るい未来が望めそうです。(中村 幸枝)

○秋の自然界は美しい。野生動物も樹木も大切にしたいものです。毎日忙しい中にも自然界に親しむことの大切さにおもいを新たにしています。(福永 嘉彦・滋子)

○秋も序々に深まってきましたが、元気な皆様のお顔を拝見でき大変嬉しく思います。熊森協会という聞き慣れない団体の活動を通じて環境保護の大切さを学ぶ例会となりましたが、私たちもワイズメンとして常に学ぶ姿勢を保ち続けたいと思いました。

(藤原 正巳)

○瀬戸さんのお話を聴き、日本の失われつつある自然環境を守ることの大切さを学び、自覚した。(松浦 孝次)

○10月10日に私の家でメネット会をいたしました。谷川さん、中村幸枝さん、福永さん、坂本さん、隅田さんがきて下さり情報交換やおしゃべりをし楽しいひとときを過ごしました。今日は、野生動物の豊かな森が必要であるというお話、興味深く聞かせて戴きました。

(松浦 和子)

○「いのちの電話」バザー(11月2日)に先立って抽選券の購入をお願いした所、ゲストの皆様も含めて快く協力して下さいました。ご支援に感謝申し上げます。当日の「くだもの」屋さんでも協力してがんばりましょう。

(山田 孝彦)

○日本熊森協会の活動に大変興味を持ちました。アクティブな活動に感心しました。(三浦 直之)



(瀬戸さんの“クマの棲む豊かな森を次世代に”のお話に感動しました！)

## 《 編集後記 》

○10月から12月にかけて、YMCA、ワイズメンズクラブの行事が目白押しです。実りある秋としたいものです。

○10月号プリテン第1面のクラブ統計「出席率」を、70.1%から70.8%に訂正します。広義会員の計算が違っていました。(松浦 孝次)